

至徳

射水市立金山小学校 学校だより



令和3年6月2日

第5号

避難訓練

5月26日(水)、火災を想定した避難訓練を行いました。出火場所は給食室。子供たちは非常階段を使ってグラウンドに避難しました。講評では私の火事体験談を話しました。

近所にあった親戚の家の隣家が火事になりました。まだ火が大きくなる前だったので、私は親類を助けるために中に入りました。しかしなかなか助けられません。なぜなら親類がパニックになっていたからです。おまけにペットの犬まで。犬を助けようとしても興奮していて噛みつくのです。もう人も犬も普通の精神状態ではありませんでした。

そのうち「パキ。パキ」という音が聞こえてきました。隣の家が燃えている音です。ここにいるといつ炎が吹き出してくるのかと、とても怖い思いをしました。そうこうしながら何とか親類とペットは助け出すことができました。

この経験からの教訓として学んだことは、避難訓練をしておくことの大切さです。我が家で避難訓練をする家庭は少ないのではないのでしょうか。しかし、いざ火事になると我が家でさえどう動いてよいか分からなくなるのです。これを踏まえて、真剣に訓練に取り組むことの大切さを話しました。

学校は場所が広いので、いろいろなことが想定されます。各種避難訓練を通して、子供たちも教職員も高い危機管理意識を持ち続けたいと思います。

BFC入隊式

避難訓練の後、5年生はBFCの入隊式を行いました。BFCとは「Boys and girls fire club」の略で、少年による消防団のことです。

避難訓練では火事が起きたときにどう避難するかの訓練をしましたが、BFCでは火事が起きないためにどうすればよいかを考えていくこととなります。子供たちは、「誓いの言葉」

- ・わたしたちは、火遊びやたき火はしません。
 - ・わたしたちは、火の元点検を正確にします。
 - ・わたしたちは、火災予防についての知識を身に付けます。
 - ・わたしたちは、火災のない明るい町づくりに努めます。
- を暗唱し、力強く宣言してくれました。

BFC隊員となった子供たちが、火事が起きないように自ら気をつけたり、人に伝えたりすることで、周りの人の防火に対する意識が高まり、火事が起きないことを願っています。



学校訪問研修会

5月31日（月）、西部教育事務所、射水市教育委員会、射水市教育センターの先生方に授業を参観していただき、授業のあり方等について指導・助言をいただく学校訪問研修会を行いました。担任の先生方は、社会、算数、道徳、図工、学級活動、自立活動の授業を行い、互いの授業を見合った上で、授業の構成や子供の意見の関わり方等について協議しました。指導主事の先生からは、協議の中で出てきた意見や疑問、また参観しての見取り等を踏まえ、指導・助言を受けました。

参観された先生方からは、「子供たちがとても落ち着いて学習している」「先生が熱心に取り組んでいる」とのお褒めの言葉を頂戴しました。協議会では「更に心がけるとよい点」も教えていただき、学びの多い研修会となりました。

教師も日々勉強です。今回、指導・助言を受けたことを今後の授業に生かし、子供たちの深い学びにつなげていきたいと思えます。



新しい授業のかたち

文部科学省より「GIGAスクール構想」が打ち出されました。これは、「1人1台端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備することで、多様な子供たちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できる教育環境を実現する」ことをねらったものです。

GIGAスクール構想によって、学校における教育はこれまでの一斉学習から、個別最適化された21世紀型の学習へ深化・転換します。具体的には、「一方向から双方向へ」「児童個人に合った課題へ」「グループ学習が豊かに」等の充実を図ります。

これを受けて、既に1年生もタブレットに触れています。授業を参観すると、自分でパスワードを入力して立ち上げていました。更にソフトを開いて写真を撮り、表示させることもできました。黒板にはパソコン用語が並んでいました。授業の形態が少しずつ変わりつつあることを実感する機会でした。

